

教育・文化

学校教育はもちろん
文化活動やスポーツ、
生涯学習を通して
実り豊かな人生を。



社会にはばたく力を身につけ、豊かな心と体、確かな学力を養うことを目標に、主体的・対話的で深い学びに向けた授業を行っています。英語教育の充実のため、外国人英語講師をすべての学校へ配置。小学校には英語教育支援員を配置し、生の英語との触れ合いを通じて異国文化への理解を深めています。また、情報活用能力の育成を図るため、ICTを活用した学習活動と環境整備を充実させ、キャリア教育の一環として小学校から大学までの異校種連携の取り組みを積極的に行っています。

①市の名産品「福岡有明のり」を学校給食で：福岡有明海漁業協同組合連合会の提供により、みやまの食文化に触れ、食の大切さを学んでいます。②電子黒板を用いた外国語の授業：先進的な機材を導入し、教育のICT化を図っています。③アジア太平洋子ども会議：毎年みやまにホームステイをしている海外の子ども大使たちとの交流の中で、国際理解・相互理解を深めています。

未来を担う若者に充実の学びを 質の高い学校教育



地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、まち全体で子どもたちの学びや成長を支えるためのさまざまな活動を行うほか、教育力を向上させるため、コミュニティ・スクールの導入も進めています。地域住民の協力のもと、子どもの居場所づくりの実施や、地域で活躍している人を招いて特別授業を行うゲストティーチャー、通学合宿、子ども未来塾、職場体験学習などを通じて、多様な人や文化と触れ合いながら生きる力を身につけ、協調性や社会性、豊かな人間性を育んでいます。

①職場体験学習：病院や消防署など、市内の各事業所で働く人に教わりながら「仕事」を体験します。②子ども未来塾：放課後の時間を生かし、地域のボランティアの方に見守られながら、宿題や家庭学習に取り組みます。③通学合宿：子どもたちが親元を離れ、公民館などに数日間寝泊まりしながら学校に通い、掃除や調理も自分たちで。共同生活の中で色々なことを学びます。

子どもの成長をみんなで応援 地域学校協働活動



山川市民センター

ホールでは講演会やセミナー、コンサートなど、さまざまな催しが行われており、生涯学習の拠点施設として利用されています。図書館も併設しています。



まいピア高田

JR渡瀬駅から徒歩で約4分。近代的な外観が目を引きまます。伝統と文化を継承し続ける施設として、多目的ホールには、全国でも珍しい能舞台を設置。



みやま市立図書館

児童図書や絵本も豊富で、子どもからお年寄りまで楽しむことができます。館内には、みやま市出身の児童文学者・與田準一の資料を展示した記念館も。

知的好奇心を満たし
感性を育む文化施設



農業体験や地域の特産品を紹介する授業など、風土の良さを生かした「みやま市ならではの」授業も行っています。写真は「みやま市・越前町児童交流事業」での一枚。



①みやま市文化祭：和太鼓や歌謡、ダンスなど、市内の各団体が日頃の成果を披露します。②レインボー九州少年ソフトボール大会：九州一円から強豪チームが集結。小学生たちが白熱した試合を繰り広げ、会場は熱気に包まれます。

学びを深め、文化やスポーツに親しみ、
心豊かに、より良く生きる

みやま市には「地域みんなで子どもを育てよう」という昔ながらの意識が残っており、地域・家庭・学校が一体となって、健やかな成長を支えています。グローバル化や情報化が急速に進み、これから先の予測も困難な時代を生きる子どもたちが、豊かな心と、社会にはばたく力をもって、自己実現を図ることができるよう、教育に力を入れ取り組んでいます。学校では、児童・生徒一人ひとりが持つ力を引き出し、伸ばすための、より良い教育を進めるために、少人数授業などできめ細かな指導を行うほか、保護者から信頼される教職員の育成にも努めています。

また、九州少年ソフトボール大会、九州選抜少年剣道大会などの開催を通じて、スポーツによる青少年の健全な育成も図っています。さらに、貴重な伝統文化や歴史を大切に継承していくことで、郷土を誇りに思う心を育てています。そして、住民すべてが生涯にわたって、いつでもどこでも学ぶことができ、生きがいをもって創造的な人生を送れるような環境づくりも進めています。



童謡「小鳥のうた」の作者である與田準一（よだじゅんいち）は郷土の文化人。